

化粧で気持ちも若返り

小野の高齢者施設 女性にセラピー



酒造志保さん(中央)らボランティアにメイクをしてもらう入居者。小野市黒川町

高齢女性に化粧を施して若々しい気持ちを取り戻してもらおう「メイクセラピー」が、小野市黒川町の老人ホーム「グッドタイムリビング小野」でこのほど開かれた。入居者14人がボランティア女性3人に化粧をしてもらいながら若い頃の話に花を咲かせた。

化粧には気持ちが前向きになる効果があり、認知症予防にもつながることから、施設を運営するオリックス・リビング(東京都)が企画。芦屋市のメイクセラピスト酒造志保さん(51)が主宰するメイクボランティアグループ

酒造志保さん(中央)らボランティアにメイクをしてもらう入居者。小野市黒川町

酒造さんは、阪神・淡路大震災後の避難所で被災者に化粧をしたのがきっかけで化粧療法を学び始めた。2004年に教師の仕事を辞め、07年から同グループをつくってボランティア活動を続けている。

酒造さんらは、化粧をしていった若い頃の話などを入居者に聞きながらメイク。最初は「こ

の年で化粧なんか」と断ろうとしていた女性も、頬紅や口紅を塗ってもらうと、すっかり笑顔になって鏡を見ていた。

普段は眉を描くだけという前田孝子さん(84)は「気持ちが明るくなりました」と話していた。(吉田敦史)